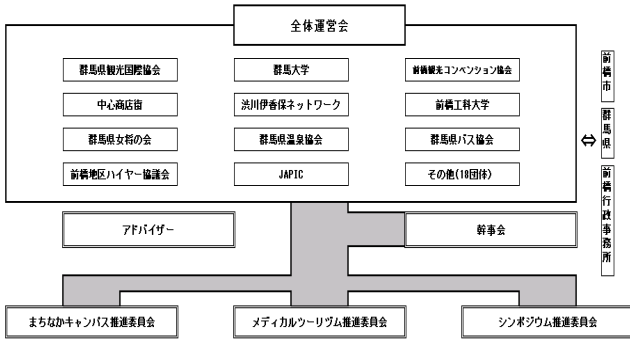


平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調査

(1) 取組名	「まえばし健康医療都市構想」実現化プロジェクトの提案		
(2) 実施団体名	前橋商工会議所	(3) 対象地域	群馬県前橋市を中心とする周辺地域
(4) 代表団体名		(5) 推薦団体名	前橋市

(6)実施した取組の内容	<b>取組①</b>	まちなかキャンパス構想の推進	
	実施主体	商工会議所、(民間カルチャーセンター事業者等)	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		商工会議所が既に実施している講座に加えて、民間カルチャーセンター事業者等とも連携し、次の講座を3月までに合計100回実施する。 1) 群馬県の自然・文化遺産をテーマとした生涯教育講座 2) 地産地消を目指した食の安全をテーマとした講座 3) 群馬大学等と連携した健康づくり講座 4) 学生・社会人を対象とした人材育成講座 5) 生活提案・生きがいづくりセミナー	子どもから高齢者までが学び・語らい・楽しめる環境とシステムを整備して生涯学習の場として恒常的に中心市街地に多くの人が集まり回遊する仕組みを作ることを目的に開催。 開催にあたっては、中心市街地活性化を目的に、商店街空き店舗や公共施設などを活用し、時には専門店を会場に開催するなど人の流入の活性化についても試みている。 講座の開催内容については、昨年まで実施してきた公開講座等に加えて、左記テーマに沿った、市民ニーズの高いカルチャー、子ども科学教室、健康づくり、コンサートなど趣味や癒しに趣をおいた講座や地元専門店による独自の講座などを実施。特に専門店による講座では参加者が後日買い物に訪れる場面もあり、顧客開拓につながった。 これまでに、講座を73回実施。参加者は約1200人であった。また、開催毎にアンケートを実施している。 また当取組にあたっては、専門の推進委員会を発足し、進捗状況確認・今後の展開等の検討(アンケート結果等も検討材料)を実施している。委員会はこれまでに2回実施。幹事・アドバイザー会は毎週月曜日に開催し、事業実施の確認を行う。
<b>取組②</b>	メディカル・ツーリズム構想の推進		
実施主体	商工会議所、(地元バス・タクシー事業者等)		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	取組①の新設講座と連動した健康増進連泊ツアーを企画・実施する。具体的には、市街地にてまちなかキャンパス講座を受講した観光客を、近隣温泉街へ運ぶため、地元バス・タクシー事業者と連携してツアーバス・ハイヤーを運行し、日帰り・1泊2日・2泊3日のツアーを各3回ずつ実施する。	前橋は充実した医療機関、豊かな農畜産物、多くの自然や美しい景観、周辺にある日本有数の温泉地など地域資源に大変恵まれた環境にあることから、この特性を活かした前橋モデルのツアーを実施している。 また、事業化に向けたスキームを産官学民が一体となって確立することを目的に、「まちなかキャンパス」、医療機関、周辺温泉地、観光スポット等と連携し「健康」をキーワードとしたツアーを企画してきた。 これまでに、日帰り、1泊2日、2泊3日を各々1回、計3回実施。参加者は約60人であった。また開催毎にアンケートを実施している。 今後は、群馬大学医学部附属病院と連携し、メディカルチェックと観光とを連携したツアーを年度内に開催する。 また当取組にあたっては、専門の推進委員会を発足し、進捗状況確認・今後の展開等の検討(アンケート結果等も検討材料)を実施している。推進委員会メンバーと随時打合せを開催し、企画・立案している。幹事・アドバイザー会は毎週月曜日に開催し、事業実施の確認を行う。	

	<b>取組③</b> <b>実施主体</b>	<b>「まえばし健康医療都市構想」のモデル構築シンポジウム開催</b> 商工会議所、(おかみさん会、温泉街協会、JC、緑水会等) 当初提案により予定していた計画 商工会議所に設置した協議会が主体となり取組①、取組②を連動させ、全体運営会委員(温泉街おかみさん会等)地元関係者と連携のもと、毎年開催を目指した第1回シンポジウムを開催する。具体的には、取組①②の結果報告と県内外への「まえばし健康医療都市」の発表やまえばし健康マスターの育成プログラム等について提案する。その他、食の安全を目指した学食システムメニューの提案を本シンポジウムで「まちなか学食」として実施する。	<b>実際の取組内容及びその結果</b> 「まちなかキャンパス」「メディカルツーリズム」の事業活動の周知とともに、「健康医療都市構想」を前橋市民はもとより首都圏の多くの人に理解してもらうため、前橋市が提唱する“生命都市いきいき前橋”実現化することを目的とした講演会やパネルディスカッションのシンポジウムを開催。これまでに東京にて2回実施し、各回約350名、計約700名の参加があった。また、今後は、「まちなかキャンパス」「メディカルツーリズム」の結果報告を兼ね、3月に前橋にてシンポジウムを開催する予定。 また当取組にあたっては、専門の協議会を発足し、進捗状況確認・今後の展開等の検討を実施している。コンサルタントとこれまでに3回実施。幹事・アドバイザー会は毎週月曜日に開催し、事業実施の確認を行う。
(7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担		<b>取組の実施を踏まえた反省点</b> 取組①～③を確実に事業化し、「まえばし健康医療都市構想」の実現をより具体化していくため、取組毎に協議会を設置することで、関係者や有識者の意見、及び参加者の意見を取り入れた事業の効率的な進捗を目標として実施してきた。事業の実施にあたり、多くの関係者等の意見を多く聴取することができたことで、一体感のある事業展開となったことや、事業進捗にあたっての長所短所を明確に把握できた点は大変良かったが、全体運営会、幹事会、3つの推進委員会を発足させたことで、事務局としては、事業の管理と各組織の管理とを同時に進めなくてはならず、結果、事業実施に伴う改善点や、各組織で出た意見の反映に時間を要してしまうといった弊害が生じた。今後は、平成21年度事業に向け、取組を事業化させていくためにも、事務局機能の強化や、事業等管理の簡素化等を試みて実施していく。
(8)取組により得られた成果	○成果1→	まちなかキャンパス構想の推進(学びや健康を軸とした文化交流) ①大学連携による市街地サテライトキャンパスの開設(H19・20年度～) → 商店街空き店舗や市内公共施設の活用により実施。 ②民間カルチャーセンター事業者との連携による首都圏受講者の誘致(H20年度～) → 9月より実施。目標100回に対し、すでに73回実施。メディカルツーリズムと連動しても開催し、首都圏受講者は、これまでに31名参加。(当初目標200回であったが4月開始を想定していたもの。9月開始で100回は妥当と考えている)。 ③まちなか学食システム(地産地消の学食メニューをICTで管理)の調査・検討 → 地元調理士専門学校と生産農家との連携を推進。シンポジウムにて試作メニューの発表予定。	H20(当初予定していた目標) ①6校連携による200講座開設(H21 継続) ②5講座開設100人参加(H21 10講座実施200人参加) ③調査・企画検討(H21 システム導入検討) H20(実際に得られた成果) ・開催については、概ね順調に実施するとともに、受講者からの貴重な意見を多く収集することができている。また、委員会における有識者・関係者の意見も大変参考になっている。また、メディカルツーリズムやシンポジウムと連動することで、圏外受講生の取り込みと、意見聴取につながった。 ・大学だけでなくボランティア団体、関係団体、市民グループ、地元商店街など様々な方が講師を務め、産学民のネットワークの基盤が構築されつつあり、自主運営型の講座も開催できている。 ・講座に参加された後、引き続き買い物や食事のためまちなかに出掛ける受講者も増えており、まちなか活性化の一助に貢献できている。特に専門店による講座では参加者が後日買い物に來られる場面もあり顧客開拓にもつながった。 ・まちなか学食のメニュー開発にあたり、安価で栄養価のある材料調達を確保するため生産農家のいわゆるはねだし(規格外)野菜の提供ルートの検討を行い、生産者・提供者・消費者の三者にメリットがある流通経路に期待が持たれる。

	<p>○成果2→</p> <p>地域による医療連携観光の推進(健康医療と一体となった観光・交流事業)</p> <p>①群馬中央バス等との連携による健康ツアーを企画・実施し、参加者へアンケート実施 →9月より実施。目標9回に対し、すでに3回実施。</p> <p>②地域による医療連携観光のシンポジウム開催 → 目標1回に対し、事業内容の周知活動とこれに伴う当該事業の事業化を高める目的で、東京及び前橋での開催に変更。東京はすでに2回実施。年度末に前橋で1回を実施予定。</p>	
	H19	H20(当初予定していた目標)
・なし		<p>①日帰りおよび連泊ツアーの事業化検討実施(H21 継続)</p> <p>②ツアー実施の検証を含む(H21 継続)</p>
	H20(実際に得られた成果)	
	<p>まえばし健康医療都市構想実現を目的とした、ツアーやシンポジウムを開催することで、県内外の参加者に対し、本構想のPRと関心を持ってもらうことに繋がった。特に、群馬の様々な観光資源に加え、群馬大学医学部附属病院に設置され21年度稼働予定の「小型重粒子線がん治療施設」の紹介等を行ったことで、群馬県の医療設備状況等の周知に繋がった。</p>	
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	<p>21年度事業は、20年度事業を引き続き実施することとしている。今年度の事業結果を、総合的に来年度事業へと繋げる重要な情報源となっており、事業化に向けた効率的な実施と、「まえばし健康医療都市構想」の実現に向けた効果的な仕組み作りへと繋げる確証を得ることができた。</p> <p>ただし、各種事業は、県内外の当該事業に興味を持つ方の参加が必須となっているが、当初想定していた人数を集客するまでには至らなかった。今後は、より多くの参加者の声を拾い、これを事業に反映させていくためにも、参加者を増やすためのPR方法の検討が必要である。</p>	
(10)平成21年度以降の活動の見込み	<p>当初提案に予定していた平成21年度以降の展開</p> <p>『まちなかキャンパス構想』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20年度のシンポジウムで実施した「まちなか学食システムアイデアコンペ」の中から事業化につながる見込みのあるものを選定し、システムの作り込みの検討を行う。</li> <li>・共通バスカードと連携し、学生共通パス券、まちなか学食システム等の導入を前提とした調査・研究も行う。</li> <li>・大学と中心市街地を結ぶシャトルバスの導入検討(バスロケーションシステム等)</li> <li>・活動拠点の整備</li> </ul> <p>『地域による医療連携観光』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メインユーザーとなる首都圏団塊世代を対象にした企画・立案</li> <li>・健康ツアー 9回のバスツアーの実施</li> <li>・健康講座の開設</li> </ul> <p>『シンポジウムの実施』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記2構想の実証実験の成果報告ならびに健康ツアー体験者からの報告</li> <li>・前橋にふさわしい「健康医療ネットワーク」のあり方について検証する</li> <li>・平成22 年度以降の取組みについて</li> </ul>	<p>今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度</p> <p>『まちなかキャンパス構想』の継続</p> <p>「まえばし健康医療都市構想」実現をより具体化するため、以下の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20年度と同様、5つのテーマに沿った講座を実施。目標は、200回の開催と、受講者数は計4000人。</li> <li>・22年度以降の事業継続に向け、大学や関係団体、市民グループ等のネットワークの強化を図り、事業費確保のため、参加費の徴収等の検討を行う。</li> <li>・メディカルツアー、シンポジウムとの連動を通じた、同事業の魅力を県内外への周知活動を活発化する。</li> <li>・地産地消を念頭に置いた「まちなか学食システム」の検討と実施。具体的には、学校関係者、食品関係者、地元商店街との調整を図りながら、年度内に商店街内の飲食店と連携し、大学生向けに当システムを稼働させ、その内容の検証を行う。また、これに伴い必須となるインフラ整備(バスロケーションシステム等)の検証を行う中で、自治体やバス会社等との検討会を設置する。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額 1,000万円)]</p> <p>『地域による医療連携観光(メディカルツアー)』の継続</p> <p>「まえばし健康医療都市構想」実現をより具体化するため、以下の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20年度と同様、「健康」をテーマとした、群馬県の観光資源、医療施設及び活動の案内を融合し、かつ「まちなかキャンパス」と連動したツアーを実施。目標は9回の実施と、参加者数は計350人。</li> <li>・「小型重粒子線がん治療施設」の稼働に伴い、群馬大学医学部附属病院や市内各病院と連動した、本格的なメディカルツアーの実現を目指す。具体的には、20年度の健康診断と観光ツアーとの融合から、施設利用者が対象となるよう、がん検診と観光ツアーとを融合した企画と、実施を行う。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額 500万円)]</p> <p>『シンポジウムの実施』の継続</p> <p>「まえばし健康医療都市構想」実現をより具体化するため、以下の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20年度同様、東京と群馬にて、シンポジウムを開催する。目標は、東京2回、群馬1回の計3回で、参加者数は延べ1500人。</li> <li>・まちなかキャンパス、メディカルツアーの中間及び結果報告とともに、本構想の周知活動を引き続き行う。</li> <li>・本構想の実現に向け、上記事業以外に有効となる事業の検証を行うとともに、必要に応じてミニモデル事業の実践を試みる予定。</li> <li>・前橋の魅力を十分に引き出せる、健康医療ネットワークの構築を目指す。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額 500万円)]</p>

